

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月11日

計画の名称	横手市の通学路の整備により、安全・安心な生活環境を確保するまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横手市												
計画の目標	通学路において、快適な歩行空間を確保することにより児童・生徒の安全を確保し、地域住民が安心して生活できるまちづくりを支援する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	31	A	31	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5		R9
1	通学路交通安全プログラムに基づく合同点検において抽出された要対策箇所（歩道または歩行者通行帯の必要箇所）について、歩行空間確保率を向上。 歩道または歩行者通行帯の必要な延長を抽出し、各年ごとに供用される延長を累計し、百分率で表す。 (整備率) = (供用済み延長) / (必要延長) × 100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	横手市	直接	横手市	市町村	交安	田屋本線・田屋学校通線	現道拡幅(側溝新設・改良) L=0.48km	横手市							31	-
											小計							31	
											合計							31	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 横手市の通学路の整備により、安全・安心な生活環境を確保するまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が市町村の総合計画と適合している	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性がある	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) ハード整備の必要性が整理されている	○
III. 計画の実現可能性 2) ソフト施策の目的が明確である	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行体制	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○